

分類	回答担当部署	意見	回答
学内環境	法文学部	法文学部総合政策学科では、ゼミ室というものが無いので、作って欲しい。他の学科や学部では、ゼミ室(研究室)があり、ゼミ生が勉強できるようになっている。学内にいくつかのフリースペースがあるが、人の出入りも激しいし、雑談する人もいて勉強だけに集中できる環境ではない。なぜ、総合政策学科だけないのか不満に思う。	法文学部の改組に伴い旧総合政策学科のスペースが大幅に削減された。ゼミは50近くもあり、ゼミ生が常時使用できるような部屋を提供することは極めて難しい。また、意見の中で言われているゼミ室(研究室)とはどのような部屋の何を指すのか正確なところは分からないが、他学科、他文系学部にも問い合わせたところそのような公式な部屋はなかった。法文学部本館1階に、静かな環境で勉強に取り組める「学生自習室」があるので、利用を勧める。
学内環境	医学部学務課	医学部ネットワーク端末室にゴミ箱を増やしてほしい(燃えるゴミ、ペットボトル、ビン・カン)	ネットワーク端末室内では、飲食禁止となっています。したがって室内のゴミ箱については、紙ゴミのみ捨てるのが可能です。その他のゴミは持ち帰るようにしてください。
学内環境	医学部	医学部のポリクリ学生控室にあるシュレッダーを新しいものに交換してほしい。	医学部において開催の学生代表者、サークル代表者との意見交換会の際に要望のあった当事案については、交換済み。
課外活動	医学部	医学部のテニスコートを整備してあげてほしい。城北キャンパスはオムニコートなのに、医学部は土でコンディションの悪いコートである。	医学部において開催の学生代表者、サークル代表者との意見交換会の際に要望のあった当事案については、今後計画的に整備していくことで回答済み。
授業	医学部学務課	④学務課が個別にメールで連絡をしてくること。決定事項のみを公文書として掲示すれば十分で、未決事項まで送ってこられると各教員の「思いつき」があたかも決定事項かのごとく混乱をきたすため。	内容不十分なメールを学生全体に送付しないなどは十分注意しますが、今回指摘の具体的事例があれば、注意喚起いたしますのでお教えください。
学内環境	工学部	工学部2号館エレベーター利用者から「いつ止まるかわからない」、「利用していて恐怖を感じる」などの声が多く、エレベータを新しくしてほしい。もしくは厳しい安全点検や修理をして欲しい。	学内のエレベーターについては、機器の経過年数・使用頻度等により改修・更新を順次実施しているところです。安全点検については、保守会社にて点検を実施しています。
授業	工学部	学生実験の道具を新しくしてほしい。工学部2号館のエレベーターの修理	学科がどこなのか等詳細がわかりませんので、工学部チームまで申し出て下さい。(エレベーターの件は施設基盤部マター)
学内環境	工学部	工学部4号館の女子トイレが流れにくい。あと、音姫を付けてください。	水圧が弱いのは、屋上設置の給水タンクからの距離が短いからです。施設の構造ですのでご理解下さい。音姫は4号館以外にも付けておりませんし、予算的につけかねます。
学内環境	工学部	総合研究棟2の西側、上の階ほど窓が低い位置までであるので危険だと思ふ。落下防止のために柵などを設置してほしい。	階段室の窓について建築基準法上の規制はありませんが、危険と思われる窓については、手すり等の安全対策について検討します。
学内環境	農学部	農学部構内の路面状況が悪い。雨水が溜まって道を塞いだことがある。	ご意見ありがとうございます。農学部として懸念の事項であり、現在、大学本部に改善のための予算を要求しているところですので、ご理解ください。

駐輪場	農学部	樽味キャンパスの自転車置き場がまだ少ない。	ご意見ありがとうございます。十分でないことに対しお詫びします。現在大学本部に改善のための予算を要求しているところですので、ご理解ください。
課外活動	学生生活支援課	フィットネスルームの設備の充実	多くの方に利用いただいておりますが、無料開放のためマシンの修理費にかかるため充実できる予算が確保できていないため、現時点では拡充の予定はありません。
課外活動	学生生活支援課	テニスコートの土のコートをハードコートにして欲しい。	テニスコートは、授業、サークルで使用していますが、土にコートについては使用頻度があまりないため、予算的に考慮して、ハードコートにする計画は現時点では難しいと考えます。
学内環境	学生生活支援課	愛大ミュージアのリラクゼーションラウンジを土日も開放して欲しい。	管理上、土日の開放は現時点では難しいと考えます。
学内環境	学生生活支援課	また愛媛大学は松山大学と比較して学生が飲食可能スペースが少なすぎます。ミュージアがある4つの自習室は、飲食可能にしても良いかと思えます。なぜなら、ゴミ箱が設置されているからです。	現在、ゴミ箱は設置されていません。過去には、ゴミ箱が設置され飲食も許可していましたが、ゴミが散乱し、マナー違反が続出したため飲食禁止になりましたので、ご理解願います。
課外活動	学生生活支援課	ダンス部の部室にクーラーを設置して欲しい。	一部のサークル活動施設へのエアコンの設置は難しいと考えます。
課外活動	学生生活支援課	第3共用施設の男子トイレ、掃除はして頂いているが石鹸の補充がなかなかしてもらえない。	担当部署を通じて、掃除の方にはあらためてお願いしました。
課外活動	学生生活支援課	第3共用施設やその他で夜間のゴキブリが非常に多いのでどうにかして欲しい。	ゴキブリの駆除については、共用施設を利用している方々に、対処をお願いしています。食べ残しなどがあるとゴキブリが集まりますので、皆さん個人個人がゴミ捨てなどを心がけてください。
駐輪場	総務課	図書館前にあった駐輪場スペースが、一昨年、広場が変わってから生協食堂前の駐輪場に集中したり、共通講義棟A前などの駐輪場として指定されていない場所への駐輪をする人が多いため、活動実績や活動数の少ないサークルの体育館使用回数を減らすなどを行い、第一体育館を駐輪場に改修する。	城北キャンパス駐輪場につきましては、平成28年4月に、共通講義棟C東側に430台（屋根付き）、教育学部2号館北側に100台を増設いたしました。現在、収容的には、必要駐輪台数を満たしております。学生の皆さんひとりひとりが駐輪ルールを守っていただき自転車マナーの向上にご協力いただきますようお願いいたします。なお、今後は、キャンパス全体の整備計画の中で、屋根付き駐輪場の増設や自転車での入構箇所の整備などを検討していくこととしておりますのでご理解とご協力について、よろしく願います。
駐輪場	総務課	屋根のない駐輪場が多いため、カッパを着て通学してもカッパがびしょ濡れになっている。共通講義棟Aの北側にある樹木を伐採し、屋根付きの駐輪場にして欲しい。	
駐輪場	総務課	工学部西門、コスタ北側における自転車置き場について、雨が降った際、カッパを着る時濡れるし、自転車も濡れるのが現状である。また雨が降った際には屋根のある自転車置き場が混み合い置けないのが現状である。この現状を改善させるためにも自転車置き場に屋根を設置していただきたい。	
駐輪場	総務課	図書館と共通講義棟Bの間の道にある無駄な川を駐輪場にして欲しい。	
駐輪場	総務課	駐輪するのが大変です。	
駐輪場	総務課	自転車置き場を増やして欲しいです。駐輪禁止の場所への駐輪が多くて、自転車の出し入れが大変であるし、大学の景観としても不快感を感じます。	
駐輪場	総務課	工学部周りの駐輪場を増やしてください。	

駐輪場	総務課	駐輪場の増加	
駐輪場	総務課	法文学部棟前の駐輪場が狭すぎます。もっと工学部の駐輪場を工学部生に利用して欲しいです。	
駐輪場	総務課	ミュージズ北側の自転車置き場に灯りを付けて欲しいです。	
駐輪場	総務課	共通講義棟B、図書館側の通路について。道幅が広いので歩行者がよく広がって歩いているがそこは自転車も通るため危険である。自転車用通路を作るなど、歩行者と自転車の分離が必要だと考える。	
駐輪場	総務課	教育学部の駐輪場に屋根がないと、雨の時、びしょ濡れになってカッパを着なければなりません。びしょ濡れの服にびしょ濡れのバッグです。そんな中、集中して授業が受けれますか？	
駐輪場	総務課	図書館の前に、小さくてもいいので駐輪場を設置してほしいです。本当に、設置してほしいです。図書館だけに用事があって大学に行くとき、わざわざ遠いところに自転車を止めて歩いて行かなければなりません。以前は図書館前に大きな駐輪場があったのに、なくなってしまってとても残念です。できれば、えみかショップの前にも設置していただきたいです。愛媛大学は、全体的に駐輪場が足りていないように思います。どうか、よろしく願いいたします。	
駐輪場	総務課	自転車置き場に屋根が欲しい。	
駐輪場	総務課	教育学部前の駐輪場にもっと屋根を増やしてほしいです。また、駐輪禁止場所にかかなりの数の自転車が停められてあるので、どうにかしてほしいです。よろしく願います。	
学内環境	総務課	自転車置き場の屋根をもっと設置すべき。	
学内環境	総務課	ミュージズの展示がいちいち入り口から回るのが大変で面倒。中庭や反対方向からも入れる工夫が欲しかった。	
駐輪場	総務課	共講Aの前の通路に自転車を置かれると、通行の妨げになるので自転車を置けないようにしてほしい。	
駐輪場	総務課	駐輪場が少なく自転車があふれているので、駐輪場を増やして欲しい。	
学内環境	工学部	工学部2号館エレベーター利用者から「いつ止まるかわからない」、「利用していて恐怖を感じる」などの声が多く、エレベーターを新しくしてほしい。もしくは厳しい安全点検や修理をして欲しい。	学内のエレベーターについては、機器の経過年数・使用頻度等により改修・更新を順次実施しているところです。安全点検については、保守会社にて点検を実施しています。
学内環境	工学部	総合研究棟2の西側、上の階ほど窓が低い位置までであるので危険だと思う。落下防止のために柵などを設置してほしい。	階段室の窓について建築基準法上の規制はありませんが、危険と思われる窓については、手すり等の安全対策について検討します。
学内環境	施設企画課	正門前の点字ブロックが剥がれている。視覚障がい学生の通行が困難になっているため、点字ブロックを修繕してほしい。	点字ブロックのはがれている箇所については、修繕を検討し現在見積依頼中
学内環境	施設企画課	正門からメディアセンターに向かう点字ブロックが設置されていない。	範囲が広いので、現在検討中。

学内環境	施設企画課	理学部の路面・工学部4号館前の路面の色が点字ブロックの色と識別が難しく、視覚障がい学生が移動する際に点字ブロックを見つけれず、移動に困難が生じる。コントラストが高くなるように点字ブロックの色を変更してほしい。	理学部の路面は、発注済み。 その他については、検討し、見積依頼中。
学内環境	施設企画課	城北キャンパス正門の車両入構ゲートを通じた辺りの道がをでこぼこしている。通行時の振動が大きく自動車に乗った肢体不自由学生にとって危険であるため。例えば、車椅子から頭が落ちそうになるので、改善してほしい。	現在、基幹整備の配管埋設工事中で、今年度復旧予定。
学内環境	施設企画課	就職支援課の出入りに段差がある。就職支援課に入るのが難しいため、段差を緩和してほしい。	入口については、雨水進入防止のための段差があるが、改修は困難である。
学内環境	施設企画課	キャンパスバリアフリー推進室横の障がい者用トイレは男女共用だが、そばの男子トイレと明確に区切られていない。男女共用のトイレであるのに、女性が利用を避けてしまうため。また、男性を介助する介助者であっても女性であることが多いため、男子トイレとの区切りを明確にするために、扉を設けてほしい。入り口の表示に障がい者用トイレを追加してほしい。	現在の状況では、扉等の設置は困難な状況である。
生協	生協	学内にアイスの自販機を作って欲しい。	設置場所のご希望を教えてください。自販機の入替ならば比較的容易ですが、新規をなると大学の許可が必要となりますので、大学へ相談いたします。
生協	生協	食堂の空く時間を早くして欲しい。	「どこの店舗を何時から開ける」というご希望を教えてください。利用状況と人員確保の点を考慮して判断いたします。なお、学生会館の2階食堂は8時から開店しています。
生協	生協	アクアカフェにサラダを置いて欲しい。	4月よりサラダを品揃えいたします。ご利用ください。
生協	生協	昼休みにコスタが人で溢れるので、増築して欲しい。	生協としてもコスタを広げることを望んでいます。大学の理解と協力が必要ですので、大学と協議をしていきます。
生協	生協	学食等が高い。	生協だから特別に安く仕入れられることなく、他の大学生協と共同で仕入れるなど工夫しています。食材も高騰が続いていますが、価格については引き続き努力します。ただし、安いだけでなく、安心して安全な食材を使用していますことご理解ください。
生協	生協	農学部キャンパスにも城北キャンパスにあるような食堂以外のカフェみたいな所があってくれと混雑したときに食堂とラウンジに人がいっぱいにならなくて良いのに、と思う。	施設の設置・拡充は、皆さんの要望と大学の理解と協力が必要です。大学と協議をしていきますが、皆さんのご協力をお願いいたします。
生協	生協	農学部の食堂が狭い。生協の力だけでは建て替えられないと思うので、協力してほしい。また、混雑時に高校生が勉強したりお弁当を食べるのはやめて欲しい。	施設の設置・拡充は、皆さんの要望と大学の理解と協力が必要です。大学と協議をしていきますが、皆さんのご協力をお願いいたします。高校生の利用の仕方については、高校と協議します
生協	生協	売店、自販機にアクエリアスを増やして欲しい。	アクエリアスの品揃えを増やします。ご利用ください。
生協	生協	第2体育館前のゴミ箱のペットボトル回収を増やして欲しいです。特に夏場は本当に酷い状況になります。	自販機周辺など生協が管理しているゴミ箱は、基本、毎日回収しています。中でも体育館のゴミ箱は、学外からの持ち込みや分別がされていないゴミが多く、管理に困っています。皆さんのご協力をいただきたいと思います。
生協	生協	ミールカードを1万円から作れるようにして欲しい。	ミールカードは食事履歴の記録など食育のツールと位置付けており、運営のために基準や制限を設定しています。1万円ならば i p a での利用をお願いいたします。

生協	生協	8月の第1週目までは学食を通常時間どおり営業して欲しいです。	2016年度は、8月3日（水）から短縮営業としました。近年は集中講義やオープンキャンパスなど学内人口も多い時季でありますので、2017年度については8月第1週まで通常営業といたします。
生協	生協	工学部側のショップが小さい。	生協としてもコストを広げることを望んでいます。大学の理解と協力が必要ですので、大学と協議をしていきます。
生協	生協	愛大のショップよりコンビニで買い物の方が安い	生協だから特別に安く仕入れられることなく、他の大学生協と共同で仕入れるなど工夫しています。食材も高騰が続いていますが、価格については引き続き努力します。ただし、安いだけではなく、安心で安全な食材を使用していますことご理解ください。
生協	生協	コストだけメニューが少ない	コストは、小さい店舗で小さい厨房ですので提供できるものには限界があります。ご理解ください。
生協	生協	えみぱく等で売っているから揚げ。コンビこのようにもう少し美味しくしてほしい。	えみぱくの唐揚げを好まれる方もいます。ご要望の味を教えてください。
生協	生協	学食を安くして欲しい	生協だから特別に安く仕入れられることなく、他の大学生協と共同で仕入れるなど工夫しています。食材も高騰が続いていますが、価格については引き続き努力します。ただし、安いだけではなく、安心で安全な食材を使用していますことご理解ください。
生協	生協	体育館近くの自販機の隣のごみ箱が週末特にいっぱいであり入り切っていないし、外部の方が見たらきつと残念がるようなありさまである。分別を呼び掛けているはずがペットボトルのキャップ回収箱がない。単純にごみ箱を増やしたらよいと思うし、キャップ入れを設置したら良い。今のままだとごみを回収してくださる方も大変だし、ゴミブリがわいたりカラスが寄ってきてしまう。	自販機周辺など生協が管理しているゴミ箱は、基本、毎日回収しています。中でも体育館のゴミ箱は、学外からの持ち込みや分別がされていないゴミが多く、管理に困っています。皆様のご協力をいただきたいと思えます。ペットボトルのキャップ分別は、生協学生委員会の活動としています。改めて回収箱設置など見直しします。
生協	生協	食堂の机にもっと台ふきを置いておいて欲しい。	管理上、各テーブルに設置することは難しいです。ドレッシングテーブルに置いている数量を増やすなど工夫していきます。ご理解ください。
生協	生協	アクアカフェに虫がいっぱい湧いていて衛生的によろしくない。すべてサンドイッチのような形にしたり、虫が入りにくい作りに変えるべきだと思う。作っている現場は見えないが、そこにも虫がいるのではと思うと、食欲が失せ買う気になれない。	水辺が近くにあり、梅雨時など虫が入るようです。季節によっては、袋に入れることや防虫器の設置など検討します。
学内環境	生協	充電スポットを作してほしい。	基本、充電は認めていません。Freenyでは充電ができますのでご利用ください。
生協	生協	えみか前の食事スペースにテントが置いてあるが、見栄えが良くないので屋根を延長するなり、別の布をかぶせるなりしたほうがいいと思う。	屋根の延長は、生協としてはできません。設置しているテントが古くなっていますので、4月に新しいものと入れ替えます。
授業	総合情報メディアセンター	ネットワーク端末室が不潔すぎる。掃除機等貸出して欲しい。	ネットワーク端末室については、医学部教務委員会にて対応済みです。なお、みなさんが共有して使用する場所ですので、清潔にご利用いただくよう心がけて下さい。

授業	総合情報メディアセンター	メディアセンターの利用時間を長くしてほしいです。	現在、平日は21時まで演習室を開放しております。 (土日祝は10時～17時) それ以降もパソコン利用希望の場合は、中央図書館2階の閲覧室が平日は23時30分まで開いておりますので、そちらをご利用下さい。(土日祝は9時30分～19時)
授業	総合情報メディアセンター	Moodleにログインするときに、いちいちリストの中から愛媛大学を選ばないといけないので、あの作業を省略していただけたら助かります。	省略することはできません。 愛媛大学moodle2は大学間連携を目的として学術認証フェデレーションのサービスプロバイダとして登録しています。 学術認証フェデレーションの仕組みとして、まず所属大学を選択することでその組織の認証サーバへ転送され、その認証結果によってログイン可否を判定しています。 愛媛大学以外の方が利用されることも前提としているため、大学を選択する手順を省略すると、所属大学が判別できないためユーザの特定ができずログイン自体ができなくなってしまう。
授業	教育支援課(教育)	講義や実習のスケジュールの希望調査や発表がバラバラであり、希望調査を出すときに運試しのようになってしまっている学生やスケジュールが合わなくなり集中講義が取れない学生もいる。介護体験等やプレ実習、集中講義等の日程の日程発表、希望調査のタイミング等を考慮して欲しい。	順番で予定が決められるように配慮いたします。また、後期開始前までに行われる集中講義の日程の発表はできるだけ早く行うよう担当に働きかけます。要望にお応えできるものと対応できないものがあります。以下に詳細を記載します。 1. 介護等体験について 平成28年度の介護等体験事前・事後指導ガイダンスは、4月14日(木)に実施されています。ここで特別支援学校と社会福祉施設での1年間の実習日程が発表されます。これは、特別支援学校や社会福祉協議会との調整を急ぐためです。今回の問題になっている講義では、これが最初になりますし、平成29年度は更にこの日程が早くなる予定です。 また、介護等体験の個別希望調査は、社会福祉施設については平成28年度の場合、4月18日(月)～4月19日(火)に、特別支援学校の体験は、前半部分は5月11日(水)～5月16日(月)、後半部分は7月13日(水)～20日(水)の期間に行われています。 介護等体験の行事には、すべて学外の相手方がありますので、介護等体験の希望調査を遅らせたり、集中講義を含め、日程発表を4月のこのガイダンス以前に発表することはできません。しかしながら、4月冒頭のガイダンス等の機会を通じ、「それぞれが介護等体験の日程を決める際、前期中に発表される8月～9月の集中講義及び実践省察研究(プレ教育実習)の日程と介護等体験の日程に重複が起こらないよう注意すること」を強く喚起いたします。 2. 実践省察研究(プレ教育実習)について 実践省察研究(プレ教育実習)関係の行事予定の最初は、7月14日(木)ですので、ほぼ介護等体験の予定を申し込んだ上で、実践省察研究(プレ教育実習)の予定を決めることとなります。附属学校園では、4月最初に組研や研究授業のクラスを決めることはできませんので、現状はこれを維持せざるを得ないと思います。

授業	教育支援課(教育)	同上	<p>(上段の続き)</p> <p>3. 集中講義について 集中講義の日程ですが、現状ばらばらになっている日程をできるだけ統一し、できるだけ早く発表するように考慮いたします。また、集中講義の履修登録締め切りについては、6月30日で締め切られるものもあります。すべての介護等体験とプレ教育実習の希望調査等が終了してからも申し込みができるよう、夏期休業中に開講される集中講義の履修登録の受付を平成29年度は7月28日(金)まで延長するようにいたします。 ただ、これらは講義担当の先生の予定もありますので、平成28年度ですと4月18日、19日に行われた社会福祉施設の希望調査には間に合いません。</p> <p>4. スケジュール上の問題点について 二種類の介護等体験についても、実践省察研究(プレ教育実習)についても、ガイダンス時に「9月～10月前半には実践省察研究(プレ教育実習)があるので、この時期に介護等体験を入れないよう」お願いしてあります。特に、平成28年度入学生からは、実践省察研究(プレ教育実習)が必修科目となりますので、一層の注意が必要です。 現状は介護等体験の前期の日程は6月～9月になっていますので、8月9月の集中講義や実習のためにこの期間を除外すると、6月7月の2ヶ月間に限定されることになります。これについては、平成29年度は前期の社会福祉施設の体験期間を1ヶ月延ばすことにしましたが、引き続き調整を進めて参ります。</p>
授業	教育支援課(統括)	成人式前に冬休みが明けるため、成人式前後に(東日本が地元の人)は講義を休まなければ戻れない場合もあり、そうでなくとも移動にかかるお金が高くなってしまい生活、勉強ともに大変なので夏休みを9月中旬までとし、後期を9月下旬から開始し、冬休みを成人の日の2日後までにして欲しい。	成人式前に授業日を置かないように考慮はしておりますが、入学試験日程と接触しないよう2月中旬には授業を終えるためには、どうしても成人式前から授業を開始せざるを得ない年も出てまいります。また、後学期の開始日を早めるのは、9月入学の日程を早める事となり他大学とのつながり考えると学年暦を変更するのは難しい状態です。しかし、今後もできる限りの検討はしてまいります。
授業	教育支援課(統括)	暴風警報だけでなく、大雨警報、大雨洪水警報、暴風雪警報が発令されている時は休講にすべきだと思います。登校時に大変危険です。	休講は特別警報(高潮及び波浪を除く。)又は台風に伴う暴風警報が対象です。近隣の他大学でも大雨警報等のみの場合は休講となっております。 ただし、決まり通り、機械的に判断しているわけではなく、暴風雪警報時などは公共交通機関が通常どおり運行されているか、授業の実施は可能か、個別に判断しております。
授業	教育支援課(統括)	図書館前の掲示版に新しい掲示が張り出されたときに、修学支援システムなどのメールで知らせて欲しい。	掲示も多種あります。すべてメールが来るのは問題があるかとおもいます。具体的な要望があれば対応の可否を検討します。
授業	教育支援課(統括)	図書館前の掲示版に新しい情報が貼り出されたときに、メールなどで知らせて欲しい。	掲示も多種あります。すべてメールが来るのは問題があるかとおもいます。具体的な要望があれば対応の可否を検討します。
授業	教育支援課(統括)	クォーター制を廃止してください。	今後効果を検証すべき課題として全学的に認識はありますが、導入後、間もなく、早急に結論をだせる内容ではありませんのでご理解をお願いします。

授業	教育支援課(工)	<p>工学部環境建設工学科における研究室配属(卒論認可試験)は、平成26年度入学生から始まった制度だが、学生側としては単位取得によるGPAでの配属先決定でないことに不満が出ている。また、先生に質疑応答をしに伺っても先生ごとの返答が異なっているのが現状である。この制度を理解していない先生がいるため情報共有をしていただき質疑応答に対する返答を統一していただきたい。またこのような不満が出ないため説明会を開催していただきたい。</p>	<p>研究室配属資格認定試験(以下、認定試験)は、学生の学力確認と達成度評価が目的で実施されています。また、選択式の試験記述方式は、公務員試験や技術士試験を想定したものです。これまでの勉学の復習と、この認定試験を活用することで本番の試験に慣れてもらうという2つの側面があります。すべては学生の皆さんのことを考慮して実施した試験でしたが、H26年入学の学生には、試行錯誤する中で実施したこと、さらに内容を周知する機会が少なかったことから混乱を招いてしまいました。本試験は、4回生に進級し研究を遂行するのにふさわしい学力を持っているかを判断するための“資格試験”であるとの認識で取り組んでください。その点数、および早期合格による研究室の優先的配属は行いません。基本的には入学時の規定どおりGPAで配属決定いたします。ただし、認定試験はRA選抜も兼ねており、受験後にRA資格者と認められた学生は、その分野の研究について非常に強い意欲を持っていますので、修士課程における研究活動の活性化に鑑み、優先的に配属いたします。</p> <p>なお、教員間で本制度のコンセンサスをとり、学生には近日中に説明会を開催しますので、個々の質問に対する回答は、その場でいたします。</p>
授業	教育支援課(工)	<p>環境建設工学科の研究室配属認定試験について、入学のときにはそのような話は何も聞いておらず、GPA順に研究室に配属されると聞いていました。それなのにもかかわらず、いきなりそのような研究室配属認定試験に合格しなければいけないというのは不満があります。授業を真面目に受けてレポートも提出して試験にも合格して、せっかくGPA差上げて頑張っていたのに、一発逆転のような研究室配属認定試験で決めるのはおかしくないでしょうか。入学したときからそれを言われていたのなら理解できますが、いきなり研究室配属認定試験の直前に言われました。最初の試験の時期も直前に変えられ、ほぼ勉強もできない状態で試験を受けました。多くの人がその1回目の試験で合格することなく、範囲も広いために勉強するのも大変です。授業で単位を取れているのだから、その認定試験は必要ないと思います。また、マークシート形式のため、勘で当たった人も多いと感じます。このような試験をする意味がありません。環境建設工学科だけこの試験がある意味もよく分かりません。もしもするのだったら、他の学科や他の学年の人にもすべきだと思います。不平等にこの試験をする必要はないと感じるので、いきなり始まったこの試験について、私たちの気持ちも考えてほしいです。</p>	<p>研究室配属資格認定試験(以下、認定試験)は、学生の学力確認と達成度評価が目的で実施されています。また、選択式の試験記述方式は、公務員試験や技術士試験を想定したものです。これまでの勉学の復習と、この認定試験を活用することで本番の試験に慣れてもらうという2つの側面があります。すべては学生の皆さんのことを考慮して実施した試験でしたが、H26年入学の学生には、試行錯誤する中で実施したこと、さらに内容を周知する機会が少なかったことから混乱を招いてしまいました。本試験は、4回生に進級し研究を遂行するのにふさわしい学力を持っているかを判断するための“資格試験”であるとの認識で取り組んでください。その点数、および早期合格による研究室の優先的配属は行いません。基本的には入学時の規定どおりGPAで配属決定いたします。ただし、認定試験はRA選抜も兼ねており、受験後にRA資格者と認められた学生は、その分野の研究について非常に強い意欲を持っていますので、修士課程における研究活動の活性化に鑑み、優先的に配属いたします。</p> <p>なお、教員間で本制度のコンセンサスをとり、学生には近日中に説明会を開催しますので、個々の質問に対する回答は、その場でいたします。</p>
授業	教育支援課(工)	<p>(上段の続き) 3回生の環境建設工学科の者です。25年度入学の人たちは卒論認可試験、わたしたちの26年度入学の人たちから研究室配属テストというものを生徒の同意なしに一部の先生たちとの独断で行われています。これらのテストは入学時には知らされていなく突如行われるようになりました。1回生の時から研究室配属などのために成績(GPA)の向上、単位取得を頑張ってきましたが、試験(TOEIC500点以上、数学や物理、専門科目)に合格しなければ25年度の人たちは卒業できず、26年度は研究室を優先的に選べない状況になっています。さらに1回生のときからサボり気味でGPAが悪い人の方が先に(運良く)合格した場合、そのたちが先に研究室を選べるなど憤りを感じます。そのためGPAの高い人がそのテストに合格しやすい条件をつくる、生徒の同意を得る、などによって改善していただきたいと思っています。対応よろしく願いいたします。</p>	<p>上段にて回答</p>

授業	教育支援課(工)	<p>環境建設工学科の研究室配属資格認定試験についてです。今まで研究室配属はGPAII固と聞いておりそのために一回生から頑張ってきたのに、突然始まったこの試験が受かった順に配属されるというのはおかしいと思います。GPAが低い人が偶然試験に合格し、先に研究室配属されることになると今までの努力が全て無駄になったとしか思えません。実際、英語の試験はTOEICを模したものであり四択のマークシートであれば偶然合格した人も居るのではないのでしょうか。勤で受かったと言っている人を見かけて、正直腹が立ちました。このような試験は廃止しても良いと思いますが、もし試験を行うのであれば今までのGPAを配慮した試験内容にしてほしいと思いますし、一発逆転で研究室配属できるというのはいいです。それより、コツコツ頑張ってきた人たちを認めて下さい。よろしくお願致します。</p>	<p>研究室配属資格認定試験(以下、認定試験)は、学生の学力確認と達成度評価が目的で実施されています。また、選択式の試験記述方式は、公務員試験や技術士試験を想定したものです。これまでの勉学の復習と、この認定試験を活用することで本番の試験に慣れてもらうという2つの側面があります。すべては学生の皆さんのことを考慮して実施した試験でしたが、H26年入学の学生には、試行錯誤する中で実施したこと、さらに内容を周知する機会が少なかったことから混乱を招いてしまいました。本試験は、4回生に進級し研究を遂行するのにふさわしい学力を持っているかを判断するための“資格試験”であるとの認識で取り組んでください。その点数、および早期合格による研究室の優先的配属は行いません。基本的には入学時の規定どおりGPAで配属決定いたします。ただし、認定試験はRA選抜も兼ねており、受験後にRA資格者と認められた学生は、その分野の研究について非常に強い意欲を持っていますので、修士課程における研究活動の活性化に鑑み、優先的に配属いたします。なお、教員間で本制度のコンセンサスを取り、学生には近日中に説明会を開催しますので、個々の質問に対する回答は、その場でいたします。</p>
授業	教育支援課(工)	<p>環境建設工学科の研究室配属試験について、このような試験があることは入学当初には知らされて折らず、急にこのような試験があることが知らされた。今まで、先輩や先生からはGPAで研究室が選択されるということを知っており、GPAを高めるよう3年近く努力してきた。しかし、このような試験が実施されることになり、GPAではなくテストの成績で研究室を選ぶようになってしまった。急にこのような試験が実施されることになり、先生たちからの説明や実施の意図が説明されていないため、生徒側としても戸惑うのと同時にきちんとした説明が欲しい。また、生徒の意見も聞いて欲しい。1回の試験で自分の研究室の幅が狭まるのはどうかと思う。このような試験は無意味だと思う。また環境建設学科としては、留学を進めているにも関わらず、留学に行く人が研究室配属試験を受けられないような日程にしているのはどうかと思う。それならばきちんと、みんな受けられるように日程を調整すべきだと思う。みんなが平等に試験を受けられなければ意味がないと思う。これらの意見を元に今後の対応よろしくお願致します。</p>	<p>研究室配属資格認定試験(以下、認定試験)は、学生の学力確認と達成度評価が目的で実施されています。また、選択式の試験記述方式は、公務員試験や技術士試験を想定したものです。これまでの勉学の復習と、この認定試験を活用することで本番の試験に慣れてもらうという2つの側面があります。すべては学生の皆さんのことを考慮して実施した試験でしたが、H26年入学の学生には、試行錯誤する中で実施したこと、さらに内容を周知する機会が少なかったことから混乱を招いてしまいました。本試験は、4回生に進級し研究を遂行するのにふさわしい学力を持っているかを判断するための“資格試験”であるとの認識で取り組んでください。その点数、および早期合格による研究室の優先的配属は行いません。基本的には入学時の規定どおりGPAで配属決定いたします。ただし、認定試験はRA選抜も兼ねており、受験後にRA資格者と認められた学生は、その分野の研究について非常に強い意欲を持っていますので、修士課程における研究活動の活性化に鑑み、優先的に配属いたします。なお、教員間で本制度のコンセンサスを取り、学生には近日中に説明会を開催しますので、個々の質問に対する回答は、その場でいたします。</p>
授業	教育支援課(統括)	<p>卒業認定試験が急に実施されて卒業が遠くなり、やる気のなくなっている学生が多数存在する。入学時の条件から急に変更されるのはひどいと感じる。またクォーター制度についても学生の意見などは聞かれず、一方的に実施され説明も不十分であったのでよくないと思う。クォーター制度にそぐう成績発表や単位取得、教科の変更など詳しい説明が必要であると感じた。</p>	<p>(卒業認定試験)卒業認定試験については実施している学部がありません。環境建設工学科の研究室配属試験が意見に近いかと思います。教員からの回答は別意見にある回答通りです。(クォーター制度)新学部設置に伴い、全学的な導入が図られましたが、導入は各学部で検討し実施しております。共通教育については説明会等実施しておりますが学部により対応が異なりますので一概に回答できません。各学部にはご意見があったことをお伝えします。</p>
授業	教育支援課・学生生活支援課	<p>公欠認定の範囲を増やして欲しい。せっかく全国規模の大会に出場する部が出てきても公欠にならない。四国インカレのみ公欠適用が出来るというのはあまりにも適用範囲が狭すぎる。改善案を挙げるなら、四国インカレのように大会を指定しておくのも良いが、それでは公欠適用の柔軟性に欠けるので、部からの申請に基づいて大学が公欠を認定するというのもありだと思う。</p>	<p>解決済み</p>